



～戮力協心～ NO.51

2023年6月15日

発行責任者 池尻 和寛

編集責任者 情 宣 部

2023夏季手当満額獲得闘争 常駐期間突入

本社要請行動実施

6月14日（水）13:30より、本部青年部は中央常任委員（8名）でJR貨物本社へ出向き、本社要請行動を行ないました。

冒頭、池尻青年部長が要請文を読み上げ、生活実感と労働実感の乖離を感じさせず、将来にわたりJR貨物で働き続けるためにも、生活給と人財流出防止と社員の頑張りにはウエイトを置いた満額回答で誠意ある姿勢を示すことを求めて、要請行動に入りました。要請内容は以下の通りです。

・「食費も燃料費も電気代も値上げ！」「コンビニ飯をやめてスーパーの安売りで節約している！」

実質賃金が低下している中、今月に入って食料品は値上がりし、ガソリン補助金が廃止され負担が増える。将来に不安を感じている青年部員は多く、現に転職活動を始めている人もいます。本人だけでなく、親や家族からも転職を持ちかけられる人もいます。これではモチベーションが上がらない。期末手当における生活給としてのウエイトは高いため、2、9カ月の満額回答は最低条件である！

・「列車が抑止されて17時間機関車で監視」「臨時列車運転や遅れ対応で15連動」

大雨などにより、列車が大幅に遅延しているにも関わらず、会社は収入確保のため列車を切らずに動かした。慢性的な人員不足や悪天候の中、青年部員は会社の期待に応えるよう必死に働いた。こうした職場の奮闘に会社はどう応えるのか？青年部員の期待は高い！そうした期待を裏切り、会社に見切りをつけてしまうことのないよう、誠意ある回答を求めます！

・「収入改善にむけた営業の具体策は？」「営業成績が振るわないのは経営陣の怠慢では？」

なぜ昨年度決算が△63億円の赤字となったのか？物価高の影響があるとはいえ、輸送量の減よりも収入の減が大きいのは何故なのか？本社がしっかりしないと職場である営業・フロントが困っている！「Fネットに協力しろ」と言うが、営業の知識がないため勧めたくても勧められない！収入の不振は理解するし、協力できるところは協力するが、会社が今後どうしていきたいのか具体的に示されたい！

・「今の乗務員は覚える内容が多すぎる！」「慢性的な要員不足は継続的な新規採用で！」

最近の乗務員は、見習い期間の長さは変わらないのに覚える内容が多くなっている。せっかく中研を卒業しても、実技試験で不適合になるのはもったいない。あわせて、慢性的な乗務員不足解消のためには、他の職場の要員も改善しなくてはならない。新規採用を継続的に行なわれたい！

会社経営陣よ！今日伝えたことは全て事実だ！

青年部員の安定した生活を保障することに重きを置いて、満額回答の英断を！！